

天神あやとり

秋田県由利本荘市

指定無形民俗文化財



天神あやとり保存会

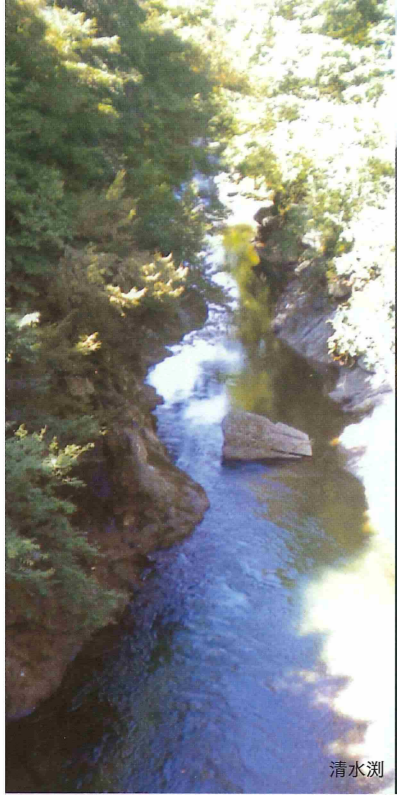


天神集落



問い合わせ先

由利本荘市
教育委員会 鳥海教育学習課(鳥海公民館)
〒015-0501 秋田県由利本荘市鳥海町伏見字久保193
TEL.0184-57-2881 FAX.0184-27-6041
天神あやとり保存会 佐藤 富栄 TEL.0184-59-2504



清水淵



ひのただけ
丁岳



箕子 小原節

天神あやとり



倉手の薬師山

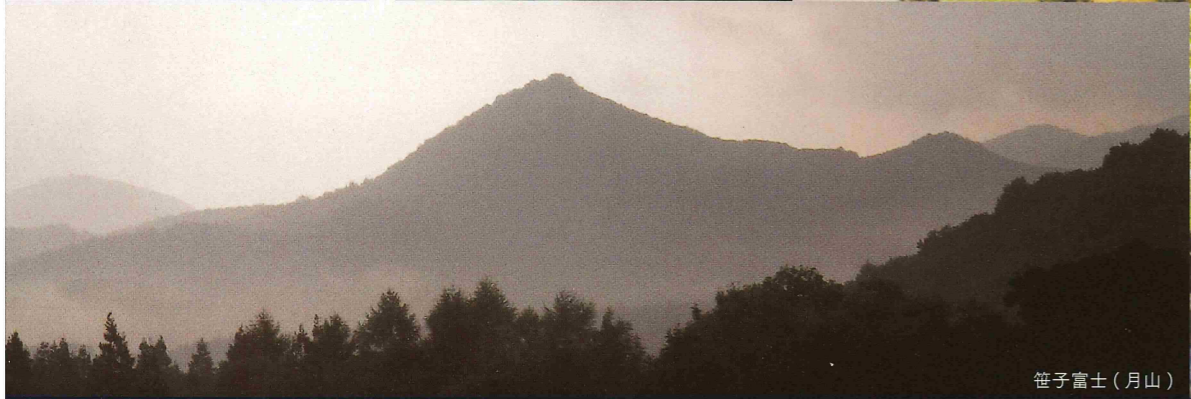


不動の森



天神 あやとり

秋田県由利本荘市
指定無形民俗文化財



箕子富士(月山)



三の坪



天神 あやとり

秋田県由利本荘市 指定無形民俗文化財

由来

旧鳥海町箕子地区は雄勝町院内银山と隣接しており、昔から産業経済・文化面での交流が盛んに行われていた。

昭和の初め、天神集落の佐藤義信が院内银山を訪れた際、巡業に来ていた四国の巡業一座から「あやとり」の手ほどきを受け、集落に帰って若者達に伝えたのが始まりとされている。

その後、独自の技を加えて作り上げたのが、現在演じられている「天神あやとり」である。

昭和55年「天神あやとり保存会」を結成し、芸能の保存・伝承に努めている。

内容

舞手・囃子方(唄い手・太鼓大、小)・三味線・四ツ竹から成る。

現在は三味線・四ツ竹を欠いている。

舞手は半纏に襷を掛け鉢巻をし、座って両手にあや棒(長さ30cm、直径3cm)を手に持ち、このあや棒を床や肩につけ、左右に交換し、空中で振り替えたりする華麗な舞である。

箕子 小原節

天神あやとり

唄と歌詞

唄は、「箕子小原節」であり、箕子地域の四季折々の美しさを称えたものである。

箕子小原節

一、ハアー 一に倉手の薬師山

たたみ上げたる岩崖に咲き出す

花も神のわざ

二、ハアー 春はさきがけ山桜梅桃あんずや梨の花

いずれおとらず咲き出でて

どこもかしこも花の村

三、ハアー 夏は涼しき清水淵

不動の森の松風に扇忘れて三の坪

四、ハアー 秋は紅葉の錦着て

丁とばかり思えども間流れる箕子川

五、ハアー 冬は二面銀世界東に月山羽黒山

昇る朝日に雲ひけばまがうかたなき

おはら箕子富士